

平成23年12月 全国百貨店売上高概況

平成24年1月19日

I. 概況

1. 売上高総額	7,318億円余
2. 前年同月比	0.8% (店舗数調整後/6か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	86社 254店 (平成23年11月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,408,844㎡ (前年同月比: -0.9%)
5. 総従業員数	87,631人 (前年同月比: -6.0%)
6. 3か月移動平均値	5-7月 -0.7%、6-8月 -0.4%、7-9月 -1.2%、 8-10月 -1.5%、9-11月 -1.6%、10-12月 -0.4%

[参考] 平成22年12月の売上高増減率は-1.5% (店舗数調整後)

【12月売上の特徴】

6か月ぶりに前年同月比プラスとなった。

12月は、全国的に寒気が強まり、太平洋側を中心に晴れの日が続くなど、季節需要を喚起する天候要因が大きく影響して、この時期主力の冬物重衣料を中心に、服飾雑貨を含めたファッション商材全般 (衣料品: +3.9%、身のまわり品: +1.2%) が好調に推移した。また、クリスマスケーキ (菓子: +1.4%) やおせち (惣菜: +5.9%) などの季節商材が活況であったほか、高級時計や輸入特選雑貨などの高額商材 (美・宝・貴: +0.3%) についても引き続き好調を維持している。

円高・株安等による景気の先行き懸念や非店頭分野 (外商・店外催事等) の苦戦など、一部マイナス要素もあったが、足元の状況は堅調で最終的には前年実績をクリアする結果となった。

具体的な動向としては、復興需要で東北地区が好調 (仙台: +10.9%、東北: +5.8%) を維持したこと、歳暮商戦は11-12月の通期でほぼ前年並みに推移したこと、訪日外国人は中国を中心に回復傾向が見られること、土曜日が前年より1日多かったことなどが報告されている。

なお、平成23年年間売上高合計は6兆1,525億円余 (対前年比-2.0%) となった。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 月の後半を中心に断続的に強い寒気が流れ込んだため、北日本から西日本にかけて月平均気温が低く、冬型の気圧配置が強まった下旬には、太平洋側では晴れの日が続き、日本海側では大雪となった。

(2) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日 (" +1日/土曜1日増)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 43店、②変化なし: 41店、③減少した: 48店、④不明: 41店

(5) 12月歳時記 (クリスマス、歳暮、天皇誕生日、冬至、大晦日) の売上 (同上)

①増加した: 39店、②変化なし: 46店、③減少した: 21店、④不明: 67店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 24店、②変化なし: 81店、③減少する: 20店、④不明: 48店

全国百貨店 売上高速報 2011年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全国	731,836,107	100.0	0.8 (1.0)
10都市	480,523,741	65.7	0.9 (1.8)
札幌	17,971,453	2.5	-0.9
仙台	11,162,001	1.5	10.9
東京	177,096,026	24.2	0.3 (-0.8)
横浜	42,968,911	5.9	2.7 (1.8)
名古屋	42,624,807	5.8	-0.4
京都	28,609,001	3.9	2.6
大阪	97,514,905	13.3	2.1 (5.3)
神戸	21,509,074	2.9	0.5
広島	17,831,199	2.4	0.0
福岡	23,236,364	3.2	-4.8 (13.5)
10都市以外の地区	251,312,366	34.3	0.7 (-0.6)
北海道	4,104,330	0.6	-1.3
東北	11,805,914	1.6	5.8 (-9.0)
関東	119,819,312	16.4	1.6 (1.4)
中部	19,461,055	2.7	-1.8
近畿	24,125,547	3.3	0.9
中国	17,317,914	2.4	-3.1
四国	13,640,605	1.9	-1.2
九州	41,037,689	5.6	0.0 (-2.5)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	731,836,107	100.0	0.8 (1.0)
紳士服・洋品	51,261,690	7.0	5.0 (6.0)
婦人服・洋品	130,389,371	17.8	4.0 (3.6)
子供服・洋品	14,384,780	2.0	4.6 (5.6)
その他衣料品	15,832,217	2.2	-0.9 (-1.0)
衣 料 品	211,868,058	29.0	3.9 (3.9)
身のまわり品	87,851,842	12.0	1.2 (1.4)
化粧品	33,635,197	4.6	0.3 (0.4)
美術・宝飾・貴金属	32,396,711	4.4	0.3 (0.9)
その他雑貨	28,644,135	3.9	-1.5 (-1.4)
雑 貨	94,676,043	12.9	-0.3 (0.0)
家具	7,775,753	1.1	-1.7 (-1.3)
家電	1,704,415	0.2	-11.9 (-12.0)
その他家庭用品	23,450,933	3.2	-0.5 (-0.6)
家 庭 用 品	32,931,101	4.5	-1.5 (-1.4)
生鮮食品	58,547,294	8.0	-3.3 (-3.2)
菓子	67,316,214	9.2	1.4 (2.4)
惣菜	55,619,649	7.6	5.9 (6.5)
その他食料品	86,615,085	11.8	-4.2 (-4.7)
食 料 品	268,098,242	36.6	-0.6 (-0.5)
食堂 喫茶	16,689,418	2.3	0.1 (2.1)
サ ー ビ ス	6,274,562	0.9	-0.1 (-1.2)
そ の 他	13,446,841	1.8	-3.6 (-4.2)
商 品 券	38,330,476	5.2	-12.8 (-13.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	0.9% (店舗数調整後／6か月ぶりプラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	0.7% (" / 5か月ぶりプラス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	0.9	0.6	6か月ぶりプラス
札幌	-0.9	0.0	2か月ぶりマイナス
仙台	10.9	0.2	8か月連続プラス
東京	0.3	0.1	6か月ぶりプラス
横浜	2.7	0.2	2か月ぶりプラス
名古屋	-0.4	0.0	2か月連続マイナス
京都	2.6	0.1	10か月ぶりプラス
大阪	2.1	0.3	3か月連続プラス
神戸	0.5	0.0	8か月ぶりプラス
広島	0.0	0.0	6か月ぶりプラス
福岡	-4.8	-0.1	41か月連続マイナス
10都市以外の地区	0.7	0.2	5か月ぶりプラス
北海道	-1.3	0.0	14か月連続マイナス*
東北	5.8	0.1	3か月連続プラス*
関東	1.6	0.3	2か月ぶりプラス
中部	-1.8	0.0	10か月連続マイナス
近畿	0.9	0.0	3か月ぶりプラス
中国	-3.1	-0.1	6か月連続マイナス*
四国	-1.2	0.0	2か月連続マイナス
九州	0.0	0.0	5か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、衣料品が2か月ぶり、身のまわり品が5か月ぶりのプラス。マイナスは雑貨、家庭用品、食料品。また、紳士服・洋品、婦人服・洋品、化粧品が2か月ぶり、子供服・洋品が4か月ぶり、美術・宝飾・貴金属、菓子が2か月連続、惣菜が8か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.8	—	6か月ぶりプラス
紳士服・洋品	5.0	0.3	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	4.0	0.7	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	4.6	0.1	4か月ぶりプラス
その他衣料品	-0.9	0.0	46か月連続マイナス
衣料品	3.9	1.1	2か月ぶりプラス
身のまわり品	1.2	0.1	5か月ぶりプラス
化粧品	0.3	0.0	2か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	0.3	0.0	2か月連続プラス*
その他雑貨	-1.5	-0.1	49か月連続マイナス*
雑貨	-0.3	0.0	2か月連続マイナス
家具	-1.7	0.0	5か月連続マイナス
家電	-11.9	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-0.5	0.0	5か月連続マイナス
家庭用品	-1.5	-0.1	5か月連続マイナス
生鮮食品	-3.3	-0.3	6か月連続マイナス*
菓子	1.4	0.1	2か月連続プラス*
惣菜	5.9	0.4	8か月連続プラス*
その他食料品	-4.2	-0.5	2か月連続マイナス*
食料品	-0.6	-0.2	6か月連続マイナス
食堂喫茶	0.1	0.0	5か月ぶりプラス
サービス	-0.1	0.0	13か月連続マイナス
その他	-3.6	-0.1	6か月連続マイナス
商品券	-12.8	-0.8	10か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

全国百貨店 売上高速報 2011年01月～2011年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全国	6,152,565,690	100.0	-2.0 (-2.2)
10都市	3,998,971,332	65.0	-1.9 (-1.3)
札幌	152,688,934	2.5	-2.2
仙台	81,820,868	1.3	-1.1
東京	1,495,432,429	24.3	-3.3 (-4.0)
横浜	353,276,602	5.7	-0.7 (-1.4)
名古屋	361,207,365	5.9	-0.7 (-3.8)
京都	242,330,827	3.9	-1.4 (-2.8)
大阪	801,361,350	13.0	0.6 (3.6)
神戸	172,838,228	2.8	-2.3
広島	146,750,048	2.4	-1.2
福岡	191,264,681	3.1	-6.6 (12.0)
10都市以外の地区	2,153,594,358	35.0	-2.2 (-3.9)
北海道	35,571,322	0.6	-4.3 (-6.0)
東北	108,849,448	1.8	-1.6 (-12.3)
関東	1,028,333,334	16.7	-2.8 (-4.4)
中部	169,140,503	2.7	-3.1 (-3.8)
近畿	209,339,598	3.4	0.2
中国	150,971,062	2.5	-2.6
四国	115,367,734	1.9	-1.5
九州	336,021,357	5.5	-1.4 (-3.3)

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	6,152,565,690	100.0	-2.0 (-2.2)
紳士服・洋品	425,056,041	6.9	-1.8 (-1.6)
婦人服・洋品	1,383,691,920	22.5	-2.6 (-3.6)
子供服・洋品	159,227,380	2.6	-2.0 (-1.6)
その他衣料品	158,160,162	2.6	-5.0 (-5.9)
衣 料 品	2,126,135,503	34.6	-2.6 (-3.2)
身のまわり品	756,764,259	12.3	-1.6 (-1.7)
化粧品	323,015,517	5.3	-1.6 (-1.8)
美術・宝飾・貴金属	269,665,999	4.4	-2.4 (-2.5)
その他雑貨	251,596,246	4.1	-3.8 (-3.7)
雑 貨	844,277,762	13.7	-2.5 (-2.6)
家具	79,447,466	1.3	-3.1 (-3.2)
家電	19,607,544	0.3	-5.3 (-5.5)
その他家庭用品	208,771,066	3.4	-1.1 (-1.6)
家 庭 用 品	307,826,076	5.0	-1.9 (-2.3)
生鮮食品	377,897,321	6.1	-2.3 (-2.4)
菓子	457,935,456	7.4	-0.2 (0.8)
惣菜	368,568,319	6.0	1.0 (1.6)
その他食料品	549,220,340	8.9	-2.0 (-2.6)
食 料 品	1,753,621,436	28.5	-1.0 (-0.8)
食堂 喫茶	173,333,520	2.8	-2.6 (-1.3)
サービス	65,631,249	1.1	-4.4 (-5.9)
そ の 他	124,975,885	2.0	-3.4 (-4.4)
商 品 券	248,245,144	4.0	-8.1 (-8.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

全国百貨店年間(1月～12月)売上高

年 間	売上高(千円)	対前年増減率(%)
2011(平成23年)	6,152,565,690	※ -2.0(-2.2)
2010(平成22年)	6,292,121,866	-3.1(-4.4)
2009(平成21年)	6,584,111,762	-10.1(-10.8)
2008(平成20年)	7,381,364,215	-4.3(-4.2)
2007(平成19年)	7,705,225,250	-0.5(-0.8)
2006(平成18年)	7,770,044,238	-0.7(-0.9)
2005(平成17年)	7,841,459,564	-0.2(-0.5)
2004(平成16年)	7,878,798,456	-2.8(-2.9)
2003(平成15年)	8,111,692,067	-2.8(-2.8)
2002(平成14年)	8,344,684,079	-2.3(-2.7)
2001(平成13年)	8,572,465,434	-0.4(-2.8)

※は店舗数調整後、()は調整前

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>